

新発田高校SSHについて

本校のSSHの目標

持続発展可能な社会構築に寄与する未来の科学技術リーダーを育成する
～新発田高校はESD(※)を推進し、科学技術分野に貢献する人材を育成します。～



※ ESDとは

ESDとは、持続可能な開発のための教育(Education for Sustainable Development)の頭文字を取ったものです。地球規模の環境・資源保全が問題化している現代において、人類が現在の生活レベルを維持しつつ、次世代も含む全ての人々により質の高い生活をもたらすことができる開発を目指すことが重要な課題となっており、自らの考えを持って、地球的な視野を持つ市民を育成するための教育に期待が寄せられています。

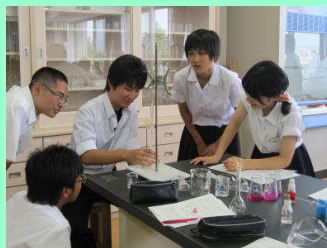
S S H と は Super Science High schools略称



文部科学省よりSSHの指定を受けた高校では、科学技術系人材の育成のため、各学校で作成した独自のカリキュラムによる授業や、大学・研究機関などとの連携、地域の特色を生かした課題研究など様々な取り組みを積極的に行っています。また、理数分野で必要な英語力の育成も重視し、海外との連携事業も推進しています。

新発田高校は、少人数教育や体験型学習、発表会など特徴ある授業を中心として、SSHを推進します。

3つの力の育成 新発田高校では、これからの社会に必要な3つの力を育成します。



科学的に問題を解決する力

特色ある融合科目を理数科で設定し、全校生徒で課題研究等に取り組みます。

地域から海外まで広がるコミュニケーション力

様々な体験をとおして、色々な立場の人々との交流を図ります。体験をまとめ発表することで、内容について理解を深めるとともに、情報化社会に必要な情報発信力を育成します。

理数科では科学英語を学習し、海外の高校生との研究と相互交流を実施します。

積極的に社会参画する力

「総合的な学習の時間『未来の俊傑プラン』」で地域の課題に取り組み、地域理解をとおして社会参画する意識を育成します。

これまでも実施してきた「芝高サイエンスラボ」をさらに拡充し発展させ、地域の小中高等学校と積極的に交流します。また、公開授業や、発表会などをとおして積極的に成果を地域に還元します。



主な取り組み

特色ある授業をととして理数系分野に必要な課題探究力を高めます。



理数科の特色ある授業例

「科学と社会生活」(1年4単位)

「現代社会」と「家庭基礎」の融合科目。家庭から社会まで現代の生活と科学技術の結びつきを学びます。**体験学習を取り入れ、大学等と連携して様々な校外活動を実施**します。

「SS数学」(1年1単位)

少人数ゼミ形式で数学の4分野を学びます。探究的に数学を学ぶことで数学の魅力を追求します。

「SS総合理科」(1年6単位)

理科4科目を融合して学びます。主に物理・化学・生物分野を学びますが、**大学等と連携**して、地学分野の体験学習も実施します。

「SS探究」(2年2単位、3年1単位)

少人数グループで課題研究を実施します。計画から発表まで長期にわたり一つのテーマを追うことで、課題解決力を育成します。



普通科・部活動の取り組み

総合的な学習の時間「未来の俊傑プラン」と連携した学問探究「ESD探究」を2年で1単位実施します。

自然科学部の活動を充実し、**新潟大学理学部自然科学科と連携**した「ESD講座」や「自然科学部研修会」を実施します。



科学技術をととして世界とつながる英語コミュニケーション力を育成します。



理数科の取り組み

「SS英語」(1～3年各1単位)

海外での科学研究で必要な英語を重点的に学習することで、必要な語学力を伸ばし、将来国際的に活躍できる能力を育成します。**TTや少人数指導など丁寧な指導体制で**、英語で科学を学びます。

「東京つくば研修」(2年春2泊3日)

東京大学、筑波大学、JAXAなど日本の科学技術研究にふれ、興味関心を高めます。

「海外研修(マレーシア研修)」(2年秋1週間程度)

海外の大学・高校等で理数分野の講義等を体験します。また、研究交流を行い、**英語コミュニケーション力を育成**します。海外の大学・企業訪問をととしてグローバル化する世界に触れます。



「芝高ESDフォーラム」を開催し、研究の成果を国内外の参加者に向けて発表します。

「芝高ESDフォーラム」を平成27年度より実施し、SSHの成果を還元するとともに、**国内外の参加者とESDを通じて交流を深めます**。

※ SSHについての詳細は、本校webページで随時お知らせします。

<http://www.shibata-h.nein.ed.jp/>